

ピアサポートを^し知ろう

だれ^くめざ
～誰にとっても暮らしやすいまちを目指して～

いしだ たかき
石田貴紀

とうきょうだいがくだいがくいんいがくけんきゅうか いがく だ い ば ー し て い きょういくけんきゅうせんたー
東京大学大学院医学系研究科 医学のダイバーシティ教育研究センター

とうきょうだいがくいがくぶ ふぞくびょういん せいしんしんけいか
東京大学医学部附属病院 精神神経科

とくてい ひえいりかつどうほうじん と も に
特定非営利活動法人 トモニ

ほんじつ はな 本日はお話しすること

じこしょうかい
1. 自己紹介

ぴあさぽーと なに
2. ピアサポートとは何か

ぴあすたっふ かつどうしょうかい
3. ピアスタッフの活動紹介

ぴあさぽーと ぶんか
4. ピアサポートを文化に

じ こ し ょ う か い 1.自己紹介

- ^{なまえ}名前：石田貴紀(いしだたかき)
- ^よ呼ばれたい^{なまえ}名前：いしやん
- いい^{かん}感じのわたし：あか^{あか}明るい、おもしろ^{おもしろ}面白い、やさ^{やさ}優しい、せいじつ^{せいじつ}誠実…
- いい^{かん}感じに向かう^む為^{ため}の^{どうぐ}道具：やきゅう^{やきゅう}野球、ぎ^ぎた^たー^ーギター、ぴ^ぴあ^あの^のピアノ、しょうぎ^{しょうぎ}将棋、ざつだん^{ざつだん}雑談…
- ^す好きな^{ことば}言葉：「^{じょうねつ}情熱」と「^{あい}愛」
- ^{たいせつ}大切にしている^{ことば}言葉：「^{おお}大きな^{あい}愛で^{ちい}小さなことを」

じ こ し ょ う か い 1.自己紹介

- 「^{やま}こころの^{とも}病^い」と^{とうじしゃ}共に生きる当事者
- ^{しょくしゅ}職種：^{ぴ あ す た っ ふ}ピアスタッフ(^{ぴ あ さ ぽ ー と わ ー か ー}ピアサポートワーカー)
- ^{しかく}資格：^{かいご ふくしし}介護福祉士、^{せいしん ほけん ふくしし}精神保健福祉士

1. 自己紹介

～ピアサポートの営みから生まれるもの～

ピープルファースト

「わたし私たちはしょうがいしゃ障害者であるまえ前ににんげん人間だ」

2. ピアサポートとは何か

- ピア(peer)…仲間、同輩
※ラテン語のpar(等しい、似た)を語源とする
- サポート(support)…支え、支える
- ピアサポート(peer support)
仲間の支え、仲間を支える…△
対等な関係性における仲間同士の支え合い…○

2.ピアサポートとは何か

- ピアサポートの研究者による定義
「同様の経験をしている対等な仲間同士の支え合いの営みすべて」
(相川章子・聖学院大学)

- ピアサポートにおける重要な視点
「仲間・支える」＋「対等・双方向」

「対等な仲間同士・双方向の支え合い」

2. ピアサポートとは何か ～精神性～

わたし　まえ　ある　くだ
私の前を歩かないで下さい

わたし　あと
私はあなたの後を

ついていくことはできません

わたし　あと　ある　くだ
私の後を歩かないで下さい

わたし　りーど
私はあなたをリードできません

かた　なら　ある
肩を並べて歩いていきましょう

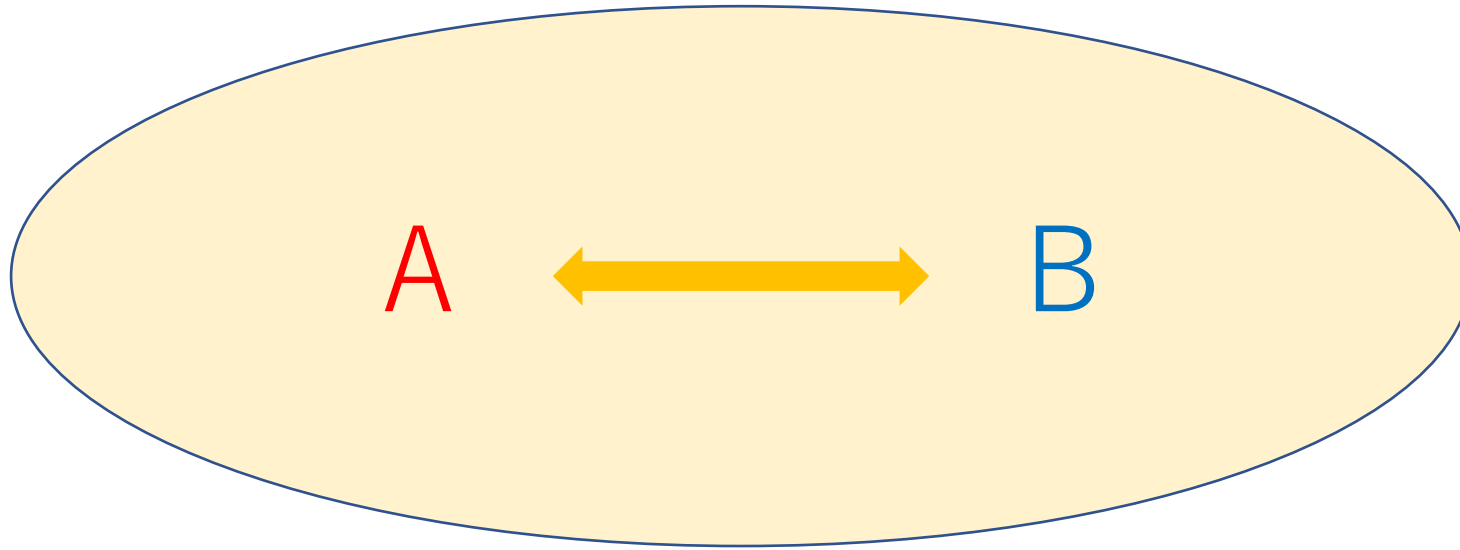
とも
友だちのように

いたばしかい　ぴあかうんせりんぐ　せいしん
(JHC板橋会・ピアカウンセリングの精神)

あ　る　べ　ー　る・か　み　ゆ　げんちょ
※おそらく「アルベール・カミュ」が原著

2.ピアサポート」^{び あ さ ぽ ー と}とは何か^{なに} ～関係性^{かん け い せ い}のイメージ^{い め ー じ}～

- 「対等^{たいとう}な仲間^{なかま}」である意識^{いしき}
- 「双方向^{そうほうこう}に支え^{ささ}合^あっている」実感^{じっかん}



2. ピアサポートとは何か ～かたち～

1. インフォーマル(非公式・自然発生的)

地域、学校、会社、サークル等の仲間同士で
自然発生的に営まれるもの

2. フォーマル(公式・意図的)

当事者会、家族会のように看板を掲げて意図
して生まれるもの

3. 仕事(フォーマルの一部)

組織に雇用され、自身の多様な経験を活かし、
同様の経験のある方との間に営まれるもの
例：東大病院精神科における

ピアサポートワーカー(ピアスタッフ)

4.ピアサポートを文化に ～「特殊性」と「普遍性」～

- ピアサポートとは

「対等な関係性における仲間同士の支え合い」

- 特殊性

「特別な経験」を共通項とする場合がある

例：見えづらい「生きづらさ」、精神保健サービスの利用、差別や偏見との闘い…

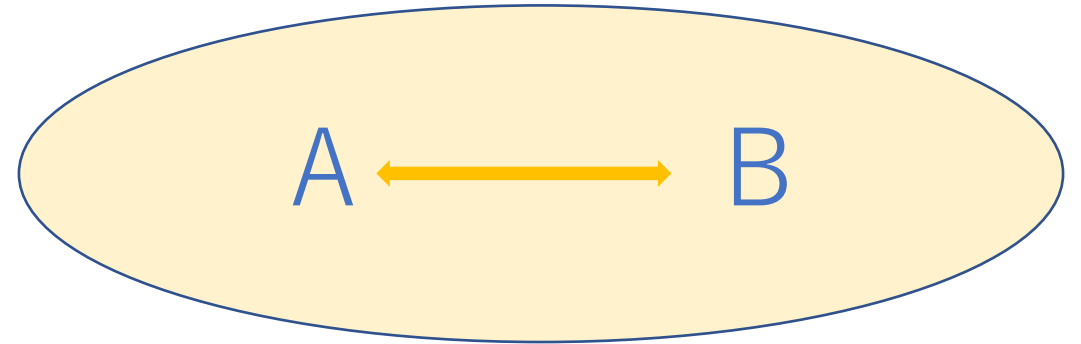
これらのつながりは確かに強い

- 普遍性

「対等な仲間・双方向の支え合い」

共通項さえ変われば、誰もが当事者の仲間となり得る。

そして、一方向ではなく、双方向に支え合うことは出来るのではないかな。



4. ピアサポートを文化に ～ピアサポートの概念を広げる～



5.最後に

私たちは、それぞれに歴史を抱えた唯一無二の存在(person)です。
「みんなちがって、みんないい」私の好きな金子みすゞさんの詩の
一節です。その一方で「みんなおなじで、みんないい」これもまた、
一つの人の見方ではないでしょうか。私たちは同じ人間(human)と
して生まれてきました。外見や価値観、家族構成、職業、障害など、
異なることは、数えきれない程あるけれど、きっと、私たちは同じ
人間として支え合うことができるはずです。
私は「ピアサポート」という考え方や営みが、そのヒントとなるこ
とを信じています。
明日が今日よりも少しだけ温かい社会になることを願って。

ご清聴ありがとうございました

～ここにいる「仲間」に心からの敬意をこめて～